

第2回 医療・介護現場カイゼン部会レポート

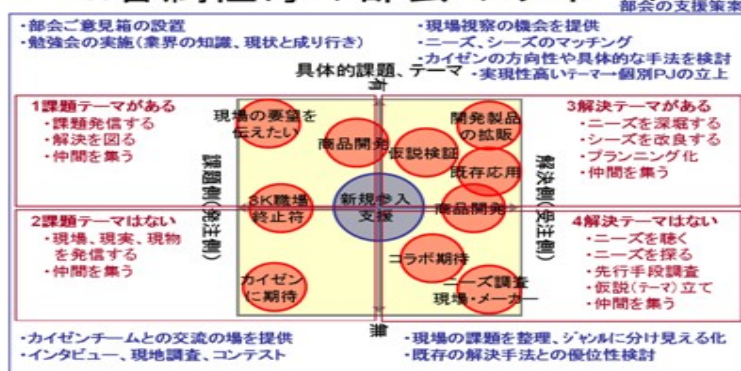
第2回部会は、第1回部会後に実施したアンケートの報告と、「医療・介護における社会理念や思想」、「介護現場の現状と今後」および「介護用具の現状と今後」(車椅子も展示)と、盛り沢山の内容となりました。

2013年3月28日(木) 14:00~17:00
 名古屋大学大幸キャンパス(本館1階多目的会議室)
 参加者:27名 <部会長:名古屋大学 榎原久孝>

【1.アンケート結果報告】(幹事 森田氏)

アンケートにより、参加理由を「現場のニーズ・現状を発信する側とその解決を提供していきたいと考える側」、また「具体的なテーマの有無」の2軸で分類。そこから今後の部会の方向性を検討しました。

4.各属性毎の部会のサポート



【2.医療・介護における社会理念や思想について】

(榎原部会長)

昨年2月の閣議決定による「社会保障と税の一体化」をもとに、説明と解説をいただきました。

- ・機能・役割の分化と相互連携による連続したサービスの提供
 病院・施設から在宅医療介護へ(地域へ)シフト
 →在宅系の充実必須

地域包括ケアシステムの構築イメージ紹介。

- ・医療モデル(疾病)から生活モデル(生活の質の向上)へ。
- ・多職種が協働し、その人の環境を評価・改善 → 個人を支援。
- ・カイゼンでは、製品に対する品質や性能だけでなく、人間が安心・安全なこと、すべての人がアクセスしやすいこと等を考慮。

【3.介護現場の現状と今後】(伊藤副部会長)

居宅介護支援事業、デイサービス、ヘルパーステーション、福祉用具の販売・レンタルなど豊富な事業経験に基づき、介護現場の現状をわかりやすくご紹介いただきました。

- ・介護は福祉のツールである
- ・医療、介護とも、中心にいるのは患者であり本人。介護はその中で「生活行為」を支えることが役割。
- ・介護保険制度の概要とサービス利用までの流れ。
- ・介護現場からのニーズを事例で紹介

現場に関わる伊藤氏が常日頃、「こうだったらいいな」と望んでいる**カイゼンのヒント**が、いくつか提案されました。

【4.介護用具の現状と今後】

(近鉄スマイルサプライ株式会社 宮口氏)

介護サービス事業者の種類の説明と介護保険でレンタル・購入できる用具について説明をいただきました。スウェーデン製車椅子など実物も展示され、参加者も乗り心地等を体験しました。

【その他】

- ・個人情報取り扱いについて: プライバシーポリシーの徹底
- ・(未登録の方へ) フォーラム登録とメルマガ登録のお願い



次回開催予定: 2013年4月25日(木)14時~16時半
 (名古屋大学大幸キャンパス)